

NPO法人チャレンジド就労支援ネットワーク
eワーカーズ鹿児島
TEL 0995 (73) 3669

共生・協働の 地域社会づくり

誰もが共に暮らし、共に働くことができる 社会づくりを目指して

NPO法人チャレンジド就労支援ネットワークeワーカーズ鹿児島(以下「eワーカーズ」)は、霧島市隼人町を拠点に障がい者の就労支援事業やバリアフリー観光に関する情報発信などを行っています。

パソコンのインストラクターをしていた理事長の紙屋久美子さんは、平成16年に鹿児島障害者職業能力開発校の職業訓練で、初めて障がい者の方々の就労支援に関わり、パソコンの技術指導に熱意を持って取り組みました。しかし、障がい者の就労機会が少ないこと、期間が限られた訓練を就労に結びつけることの難しさに直面しました。

その経験を踏まえ、平成19年7月に設立したeワーカーズでは、障がい者の就労などを支援する事業をスタートさせ、支援をしている方々の就職率が年々向上するなど成果を上げています。

平成24年度に県と協働で実施した「霧島バリアフリー観光サイト作成事業」では、霧島市と始良市でバ



障がい者の方への講座の講師を務める紙屋理事長

リアフリーの状況調査を行い、その結果や関連情報を掲載したホームページを開設するとともに、セミナーやモニターツアーなどを実施しました。「ホームページのアクセス数は半年で1万件を超え、反響の大きさに驚くと同時に、施設などでサポートをする側もバリアフリーに関する情報を必要としていることを痛感しました」と語る紙屋理事長。

この事業がきっかけとなり平成25年度も県と協働で伊佐市や湧水町でバリアフリーの状況調査を実施し、ホームページの情報の充実を図りました。さらに、観光庁のユニバーサルツーリズムの普及・促進に向けた事業も受託し、これまでの取り組みを継続、発展させました。

今年度は、バリアフリーに関する相談窓口や情報発信を行うセンターの開設を目指しています。

「バリアフリー」というと、施設や設備に目が行きがちですが、それらの問題は、一人一人を尊重するということ意識と行動



重富海岸でのバリアフリー観光モニターツアーの様子

代表者からひとこと



かみや くみこ
理事長の紙屋 久美子さん

みんなが笑顔で、夢について語り合える居場所づくりができればと思っています。

(心のバリアフリー)でカバーできることが多く、その意識がなければ、どんな施設も生かされないうこととをこれまでの取り組みを通じて実感しました」と紙屋さんは語ります。

バリアフリーな社会は、誰にとっても暮らしやすい社会です。eワーカーズは、誰もが支え合って生活し、共に働き、共に余暇を楽しむことができるバリアフリーな社会の実践を目指して、これからも活動を続けていきます。



障がい者の方々とその御家族との交流会の様子

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

TEL 099(286)2241

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

TEL 099(221)6613

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。